

別記様式第2号

会議の概要報告

会議の名称	第3回佐野市障がい者福祉計画策定委員会
1 開催日時	平成24年1月30日(月) 午後1時30分～3時30分
2 開催場所	勤労者会館 2階会議室
3 委員等の人数	22人
4 出席委員等の人数	13人
5 議題	パブリック・コメントの実施結果について 第 期佐野市障がい者福祉計画(案)について 今後の予定について
6 会議の公開・非公開の区分	公開 一部公開 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	0人
8 会議資料の名称	第 期佐野市障がい者福祉計画(案) 第 期佐野市障がい者福祉計画(素案)に対する意見募集の結果について 第 期佐野市障がい者福祉計画(案)の前回会議からの主な修正点 第 期佐野市障がい者福祉計画概要版(案) 佐野市障がい者福祉計画策定に関する活動経過および今後の予定について
9 会議の概要 (発言の要旨)	ボランティア活動の団体数、参加者数はどのくらいか。前回の策定からどのくらい増えてきたのか。 計画相談支援の見込量が大幅に変わった理由と、サービス利用計画を作成する事業所数は現在の数では対応できないがどのように考えているか。 特別支援教育を行っている幼稚園があるのか。 これから幼稚園も義務付けされると思うので入れておいた方がよい。 発達障がいには必ずしも知的障がいに伴わない部分もあることはどう表現するのか。 概要版はできれば全戸配布してほしい。 地域の理解を進めるためには相当PRしないと浸透していかないと思う。 公助である行政ができることに限りがある。自助、共助、公助に互助が入ってきた。PRの中に「あなたたちも支援する」と植えつけて行かないといけない。 地域では「障がい者がいる」という認識がない。目に見えなくてもいることを啓蒙しなければいけない。ボランティ

	<p>ア活動が行われていることも知られていない。行政が率先して紹介していいのではないか。佐野市民は1芸、1スポーツ、1ボランティアを再認識したらいかがか。</p> <p>民生委員でも障がい者の情報が入ってこない。了解を得られず漏れてしまう方をどう取り扱っていくかが問題。</p> <p>個人情報やプライバシーの問題で入って行けないが、障がい者団体の縦横の連絡がとれればいい。</p> <p>大震災を契機に再認識してもらい、障がい者にも話をしながら進めていけると分かってもらえるのではないか。</p> <p>行政の課同士が密に連携をとってもらいたい。民生委員以外にもキーパーソンはたくさんいた方がいい。</p> <p>計画書の表紙に「さのまる」を入れてみたらどうか。</p>
10 その他	